

今月の御教え

わが身はわが自由にならないものである。

……「天地は語る」第五十条……

解説

普段、私達は思いのまま、自由に歩け、食べ、話し、見ることが出来ますから「わが身が不自由」とは思いもしないものであります。ところが、一旦、病気になったり、怪我をしたりして、日常生活に支障が出来てきますと、その時、初めて「わが身の不自由」を感じるわけです。

ところが人というものは、往々にして、病気や怪我が治れば「ああ、よかった!」で、苦しい時のことは忘れてしまいがちであります。

しかし、この道に御縁を頂いた私達は病気や怪我に見舞われた時こそ

「わが身がわが自由にならない」事を悟り「痛いのが治ったのがあるがたいのではない、いつもまめながありがたい」事を忘れず、日々、生かされていることにお礼を申すことが出来れば、親神様に喜んで頂き、大御蔭を頂くことが出来るのであります。